

新型コロナウイルス感染症対策マニュアル

2020年6月吉日

一般社団法人 日本ゴールボール協会
技術部・医療チーム

新型コロナウイルスは、咳やくしゃみにより飛散したウイルスの侵入による飛沫および接触でヒト-ヒト感染すると考えられる。潜伏期間は約5日で最長14日程度。発熱及び咳・呼吸困難を伴う症状がみられるが無症候の感染者も見られる。また、新型コロナウイルスは人体の外でもかなり長期間生存する（ステンレス表面24時間・プラスチック表面2～3日・空气中浮遊する微粒子中3時間など）。

集団発生リスクとして①換気の悪い密閉空間、②人が密集、③近距離での会話や発声が行われる密接、この3条件が同時に重なった場合に、より多くのヒトが感染していると考えられる（クラスターの発生）。

<チームでのゴールボール練習時の感染対策>

1. 発熱（37度以上）がある場合や、発熱がなくても咳が1週間程度続く、味覚障害・嗅覚障害がある場合は練習には来ないこと。
2. 会場は常に換気をよくしておくこと。
3. 会場入り口及びトイレにはアルコール消毒薬を置いておく。
4. 入室時、選手・スタッフはマスク着用。手指消毒を行う。
5. 着替え時は密集にならないように、離れて少人数で行う。
6. 飲み物やタオルなどは個人用に使用（他人に触れさせない）。
7. アイシェードを使用前後でアルコール消毒を行う。
8. 試合前後でボールのアルコール消毒を行う。
9. 床面は選手接触部分については最低限アルコール等で消毒を行う。
試合中、マスクは装着しなくて良い。ただし監督・コーチ・審判はマスク装着が必要。
10. 試合前後での選手の接触は極力行わない（円陣を組むとき手を握らないなど）。
11. 選手に触れる場合は手袋（廃棄できるゴム手袋など）を使用。
12. 試合後体調が不良になった場合は、必ず運営側に連絡すること。

以上（状況に応じて変更の可能性があります）

<大会開催時のその他の注意事項>

1. 会場へはソーシャルディスタンスを守って一人ずつ入場してもらい、マスク着用を義務付けし、アルコール消毒薬にて手指消毒をする。
2. 体温をチェックする
（非接触性体温計が望ましい。接触型体温計を使用する場合はその都度アルコール消毒を行う）
3. 入場者受付では、フェイシャルガード+マスクを装着し対応する。
飛沫感染予防の衝立があれば、フェイシャルガードは不要。
4. 受付では、氏名を確認（感染者が出た場合の連絡に利用するため）。
筆記用具は使用させず、運営側で確認。
5. 会場内はソーシャルディスタンスを徹底する。人との距離を1～2メートルは必ず左右・前後で確保する。

備考：「今回の感染症対策については練習時に参考にしてください。また、スポーツ庁、障がい者スポーツ協会等からの正式なガイドラインが提示されましたら随時変更をしていく予定です。」